

平成 27 年度 沢地小学校区 第 1 回地域コミュニティ連絡会まとめ

5月29日(火)に開催された「沢地小学校区第1回地域コミュニティ連絡会」にご出席いただきまして、誠にありがとうございました。まとめができましたので、送付いたします。(市のホームページにも掲載)

問合せ 地域安全課 きずなづくり推進室 (電話983-2708)

ご参加ありがとうございました。



【当日参加団体一覧】

団体名		
沢地町内会	三島市光ヶ丘保育園	エコリーダー
富士ビレッジ自治会	沢地幼稚園	体育振興会
光ヶ丘1丁目町内会	沢地幼稚園PTA	消防団第3分団
光ヶ丘3丁目町内会	沢地小学校	防犯サポーター
富士見台自治会	沢地小学校PTA	地域安全推進員
地域包括支援センター	スクールガード	三島市PTA連絡協議会
交通安全母の会	富士見台子ども会	

※当日参加者 26 名

【地域の情報交換】

～各団体より校区の皆さんへ、情報提供&ご協力をお願い～

- 千寿会：昨年度「きずなづくりトークまとめ」は大変参考になった。老人会役員で話題に取り上げている。災害時の身の処し方など、お世話をかける場合でもきずなは大切。
- 地域安全推進員：三島駅前交番の区域内で活動中(13名)。月に4～5回青色回転灯車での町内巡回や、防犯促進活動を実施。最近ワンパターン化してきているので、アイデアがあればぜひお寄せいただきたい。

<会場アンケート>

話し合いたいテーマについて、参加者の意向を伺いました。



【テーマ別会議】

会場アンケートの結果	
① 下校時の見守り体制を広げよう！	15人
② 子ども会のサポートをしよう！	0人
③ 高齢者のコミュニケーションの機会を増やそう！	3人
④ 防災体制を強化する工夫について考えよう	7人
⑤ その他	0人

※アンケートの結果、テーマ①④について話し合いました。(次頁以降「テーマ別会議まとめ」参照)

参加者の発言内容を「現状・お困りごと」と、課題解決に向けた「解決策・アイデア」に分類しました。

テーマ①

「下校時の見守り体制を広げよう！」

	現状・お困りごと	解決策・アイデア
下校時の問題点	<ul style="list-style-type: none"> ●時間が長く、危険箇所あり ・下校時は2～3時間と時間が長い。 ・下校時間がバラバラで見守る大人が少ない。特に遅い時間。 ・地域の高齢化。 ・帰宅が遅くなると危ない箇所あり。 ・「かけこみ 110 番」も暗いとわからない。 	<ul style="list-style-type: none"> ●ポイントになる場所・時間の周知 ・下校時間（学年別）に合わせて、また見守り場所を決めてサポート協力したい。
スクールガードの活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・いつも見守って頂いているが、どんな立場の方がやって下さっているか、理解していない。 ・何年もパトロールをやって下さっている方は、そろそろ・・・と考えているが、交替できる方が現れない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・沢地小校区のパトロール団体を「スクールガード」として一団体にした。 ●サポーターとは ・8町内で20人程活動中。長い人で13年程継続。ボランティア。 ・通学路を巡回。 ・会社をリタイアした人から募集。 ・町内会で信頼できる人を紹介している。（町内会で面接）
サポーターの裾野を広げるには	サポーターの認知度が低い <ul style="list-style-type: none"> ・地域全体の認知度が低い。 ●サポーターの情報が入ってこない ・サポーターは誰がやっているのか？ ・サポーターが不足している場所は？ 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校やスクールガード代表者（地域の代表者）に連絡してほしい。
	サポーターの重要性を周知する <ul style="list-style-type: none"> ・一般の人には非常に大切なことをしているとの認識が少ない。 ・サポーターの活動の大切さを地域住民に知ってもらう。 	<ul style="list-style-type: none"> ●被害状況を共有する ・実際に被害に遭った人の話を聞く。 →サポーターに対する感謝・尊敬が高まる。サポーターのやりがいアップ。

	現状・お困りごと	解決策・アイデア
地域住民に協力を求めていく	<ul style="list-style-type: none"> ・散歩している人の協力を仰ぐ。 ・在宅者に協力してもらう。 	<ul style="list-style-type: none"> ●散歩コースの工夫 ・町内にウォーキングコース3タイプを設定。①景観、②エクササイズ、③防犯。③の中で関心を持ってもらい、自然にサポーターになる？ことを期待。 ●犬の散歩の人に腕章をつけてもらう（腕章は学校や市役所、町内から配布） ●在宅で出来るサポート ・在宅の人の補助。自宅前での立番。 ・近所の人立っただけでも有り難い。
町内会との連携を深めていく	<ul style="list-style-type: none"> ・サポート会員の募集を知らなかった。結局は町内の方々にお願いするのだから、町内会議を通じた広報が必要。 	<ul style="list-style-type: none"> ●町内会との連携（地域の大人が参加） ・町内会で声掛けする。 ・子どものいない家庭の協力もほしい。
地域住民が参加しやすい見守りを考えよう！	<ul style="list-style-type: none"> ・個人の負担が大きい。 ・時間的制約がある。 ・なかなか続かない。 ・学校や地域との連携不足。 ・町内当番制は難しい。 	<ul style="list-style-type: none"> ●情報の整理 ・サポーターの情報を整理する。 ・出来る人が出来る範囲で！ ●情報交換の場づくり ・協議会など情報交換の場づくり。 ・インターネットの利用。 ●学校支援地域本部「かわせみ」の協力 ・学校支援地域本部「かわせみ」から情報発信や周知をする。 ・学校にある防犯マップの利用。

今回の話し合いから生まれた課題解決に向けた取り組み案

- ◇スクールガードやサポーターの情報（登録者、参加方法など）を整理しよう！
- ◇危険な時間や場所など情報交換する場を作り、地域の人に活動を周知していこう！
- ◇負担にならない見守り方法を考え、協力者を増やしていこう！
- ◇情報発信や周知には学校支援地域本部を活用し、地域と協力する体制をつくろう！



今回の話し合いで出された意見を参考にして、
 各団体や各町内会で課題解決に向けて取り組んでみよう！
 次回の地域コミュニティ連絡会で、進行状況の確認ができるといい

	現状・お困りごと	解決策・アイデア
光ヶ丘保育園でトークの結果を実践した	<ul style="list-style-type: none"> ●光ヶ丘一丁目町内会の防災会議に保育園が参加 ・「保育園が災害弱者の一次避難場所」という文書があいまいであるという指摘を受け、災害弱者を明確にした内容に修正した。町内会の確認待ち。 	<ul style="list-style-type: none"> ・緊急時の収容人数については、部屋単位での貸し出しを検討中。
沢地幼稚園どのように逃げたら良いか？	<ul style="list-style-type: none"> ・園児 74 名、職員 9 名。 ・年一度避難訓練実施。沢地川で土石流の危険がある。 ・幼小合同訓練を考えているが、園から小学校まで避難する途上で土砂災害の危険性がある。 ・逃げ道がない。遊歩道か道路しかない。どちらも危険。ご意見を伺いたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・龍澤(リュウタク)寺に避難していたが、土砂災害の危険があるという指摘を受け、今年度初めて沢地小に避難する取組みを進めている。 ・まず各町内の防災組織を改めることが必要になってくる。防災専門組織が立ち上がれば、話が進むのではないか。
地域の現状を見直す	<ul style="list-style-type: none"> ●防災上の問題点 ・地域が広く 2,000 人程が居住。50%以上が 75 歳以上というデータあり。 ・沢地小への道が坂になっていて危険。危険個所をどう回避するのか？ ・身体不自由者や乳幼児など、支援や防災活動をどうするか。 ・防災意識をどう高めていくのか。 ・3 年ほど訓練をしていない。地域の一体化をどう進めていくのか。 ●避難所生活を知りたい ・災害が起こった時、具体的にどのような生活が始まるのか。 ●災害弱者がたくさんいる ・災害弱者がかなりいる。地域包括で把握しているのは一握り。地域の方に災害弱者の把握をしてほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ●地域でコミュニティ作り ・地域包括支援センターでは「男同士のそば打ち講座」を開催した。高齢者同士のつながりを作っていきたい。

		現状・お困りごと	解決策・アイデア
各町内防災会の課題	町内でばらつきがある	<ul style="list-style-type: none"> ●町内会によって防災会にばらつきがある。ばらつきをどう解消するか。 <ul style="list-style-type: none"> ・防災会の存在価値、実態が掴めない。 ・危機感の欠如。 ●防災組織を根本的に見直す <ul style="list-style-type: none"> ・まず各町内の防災会を改めるべき。 ・防災組織の体制づくりが一番では？ 	<ul style="list-style-type: none"> ・市で防災会の査定をしてもいいのでは？ ・町内会と防災組織で問題点を話し合い、認識を共有する。 ・現在の組織でとりあえずシミュレーションを試してみる。 ●自主防災組織の見直し <ol style="list-style-type: none"> ①各町内で実効性のある組織体制。 ②専任の委員の選定。任期 5～10 年。 ③班組織または組内の役割分担の確認と訓練の実施。 ●各町内で防災専門組織を立ち上げる <ul style="list-style-type: none"> ・避難所生活を送る上での最低限の機材の調達・点検等を行う。
	意見がバラバラ	<ul style="list-style-type: none"> ・色々な人間がいるので、なかなか話がまとまらず、方向が見えない。何を第一にやっていくのか？ 	
	若者がほしい	<ul style="list-style-type: none"> ・自治防災には若い人の参加が望まれる。どうしたら若い人が参加してくれるか。 ・光ヶ丘の防災会は高齢者が多い。40歳前後の方が参加してくれればいい。 ・やりがいかわかりにくい。 ・どのように人数を増やし、納得して参加してもらうか。 	
	仕事があるため対応困難	<ul style="list-style-type: none"> ・仕事の際に災害が来た場合、対応できない可能性がある。 	
	任期が短いことや輪番制にはメリットとデメリットがある	<ul style="list-style-type: none"> ・担当者が毎年入れ替わることで、深まりがないのではないか。 ・防災組織は、誰がその役割を担うのか。 ・責任を持って長期に関われる人材は？ ・毎年防災委員が変わると、防災委員が居ないと同じでは。 ・防災組織自体が構築出来ていないと感じている。役員は輪番制であり、実際に災害が起きた時に対応出来ないのでは？ 	⇔町内役員の輪番制は、多くの人が体験できるメリットがある。

		現状・お困りごと	解決策・アイデア
リーダー不在	リーダーがほしい		<ul style="list-style-type: none"> ●防災のリーダーが必要 ・経験・知恵があり、指示が出来る人。 ・消防団に入れば防災のエキスパート。消防団OBなど、地域の人材を活かす。
	防災委員の役割の誤解	<ul style="list-style-type: none"> ・防災会という大変そうなイメージ。 ・「防災会がレスキューや消防をやる」といった誤解があるのではないか。 ・普段の活動はそれほど大変ではない。 	<ul style="list-style-type: none"> ●防災会の役割の周知 ・機材の点検や、がれきに埋まった人の救出など、最小限度のことをやるというのを周知していく。
	他町内の事例を参考にする		<ul style="list-style-type: none"> ●防災力の高い町内の取り組みの共有 ・千枚原が好事例。まとまっていて防災組織もしっかりしている。実態を理解していくことが大事。
	長期計画を立てる	<ul style="list-style-type: none"> ・課題の考え方が会長により変わってくる場合がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ●先を見通した計画を ・防災計画について町内会5カ年計画を作成してはどうか。不安の解消につながる。 ●防災の道しるべ ・三島市による各町内の防災力の監査と課題のフォローアップ。 ・市が防災コーディネーターを派遣するなど最低限のフォロー。 ●消防団と連携 ・消防団をうまく活用し、自主防災と連携していく。

今回の話し合いから生まれた課題解決に向けた取り組み案

- ◇市の協力を仰ぎ、各町内の課題を把握し、何から取り組むべきか考えよう！
- ◇各町内の防災組織を実行力のある組織にするために、町内会と防災組織で話し合いを重ねていこう！
- ◇身近な他町内（千枚原など）の好事例を地域で共有し、参考にしよう！
- ◇町内5カ年計画など、長期的な計画を立てよう！

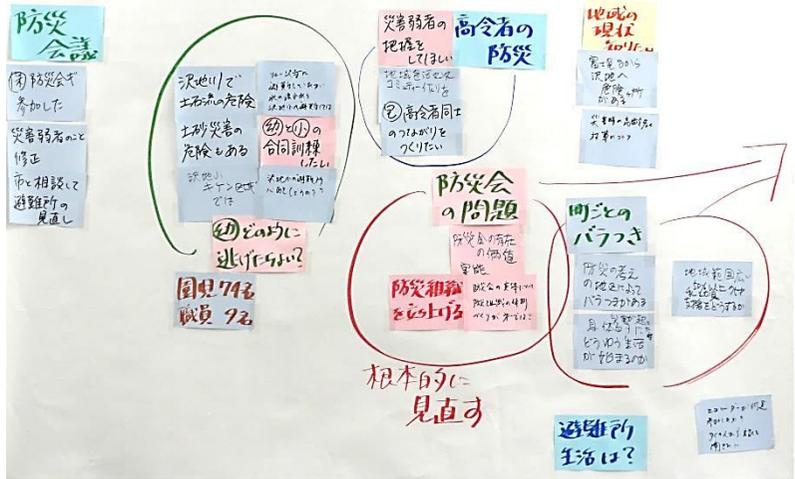
今回の話し合いで出された意見を参考にして、
各団体や各町内会で課題解決に向けて取り組んでみよう！
次回の地域コミュニティ連絡会で、進行状況の確認ができるといい



沢地小学校区

H27.05.29

テーマ:防災体制を強化する工夫について考えよう!①



沢地②

H27.5.29

